

# 鮎貝まちづくり事業調査特別委員会

## NPOを育成すべき

9月3日特別委員会が開催され、①文化交流センターの運営②ホールなどの要望書への対応③土地区画整理組合事業の状況④鮎貝まちづくり交付金事業の進捗状況の報告がありました。文化交流センターの運営については、指定管理者の管理運営仕様書と指定管理者募集要項が示されました。以前はNPOを基本として管理運営をすすめるとしていたものが、NPOでなく株式会社を含む一般公募ですすめるとの説明がありました。

委員からは、唐突であり理解できないなどの意見が出されました。また、時間をかけて当面は当局で運営しながら、NPOを育てていくべきとの要望も出されました。

中央公民館の大ホールが使用できないため、今年の文化祭のホール(あゆーむ)活用に関して芸術文化協会からの要望には、予算もあることから、今後も利用可能なものを整備していくと

の説明を受けました。区画整理組合事業に関しては、平成23年3月の解断には、今の保留地の販売状況では厳しいものがあり、今後、組合の意向などもふまえて対応していかねばならないとの説明がありました。

鮎貝まちづくり交付金事業は、順調に進展し、総額16億8千万円の事業がまもなく終了します。



白鷹町少年少女合唱団 (あゆーむ ホール)

### 請願審査

#### 採択された請願

- 政府備蓄米をルールに基づき買い入れることを求める請願  
請願者 白鷹町農民連会長 今 敏夫
- 日米FTA反対、農家経営の危機打開を求める請願  
請願者 白鷹町農民連会長 今 敏夫

### 意見書提出

- 政府備蓄米をルールに基づき買い入れることを求める意見書  
米価暴落を回避するため、政府が決めている備蓄米100万トンに不足する分を緊急に買い入れ、市場を引き締めること。
- 日米FTA反対、農家経営の危機打開を求める意見書  
日本農業を壊滅に導く日米FTA交渉は行わないことを強く要望する。

### 議会広報特別委員会

#### 広報の基本を学ぶ

8月25日と26日の両日、東京都で開催された「第70回全国町村議会広報研修会」に広報委員全員が参加しました。

研修内容は ①分かりやすい文章表現・表記について ②情報時代に求められる広報 ③ネットPR発想で広がるステークホルダー(企業の利害関係者)とのコミュニケーションと題する講演と各町村の「議会広報」の講評があり、本町の「議会だよりしらたか102号」は良い評価をいただきました。



研修風景(東京都)